

県内で実施中のまちづくり事業を紹介します！



現在、県内では11市町17地区において、まちづくり関連事業を行っています。今回はその中でも、「竹田市」と「佐伯市」が行っているまちづくり事業をご紹介します。

竹田市では“魅力あふれる城下町再生まちづくり”を目標として、城下町の歴史や文化を活かしたまちづくりを行っています。

竹田市歴史文化館・由学館

歴史や文化に関する資料を収集・保存・公開する社会教育施設として、10月にオープンします。

“ちくでんエレベーター”により、竹田市歴史文化館・由学館と旧竹田荘をつなぐことで、中心地に人が集い、岡城とともに城下町を周遊し、竹田の歴史と文化を体感しやすいまちを創出します。



竹田市城下町交流プラザ

まちなかのにぎわいを創出するため、竹組の屋根が印象的な竹田市城下町交流プラザが4月にオープンしました。多目的スペースやステージなどが設置されており、屋内外の様々なイベントに活用出来ます。

毎年多くの観光客が訪れる竹楽ではメイン会場になる予定です。

無電柱化・道路美装化・修景

住宅等の修景整備をすることで、竹田の城下町の歴史的なまちなみを保全しています。あわせて、電線の地中化と道路の美装化を行い、美しい景観を形成しています。



Before



After

佐伯市では“便利で過ごしやすく、人々が活発に交流しあうまち”を目標としたまちづくりとあわせ、“災害に強い、安心・安全なまちづくり”を行っています。

さいき城山桜ホール

個性的なデザインの屋根が印象的な“さいき城山桜ホール”は、市民に愛されるまちづくりの拠点として整備されています。館内には多目的ホールやスタジオ、市民協働センターなどがあり、芸術、文化など、様々な市民活動の拠点として活用されます。

令和2年10月31日のオープンに向けて現在建設中です。



池船津波避難タワー

津波発生時に緊急避難場所となる高台がなく、津波避難ビルも少ないことから、迅速・安全な避難が出来るよう、津波避難タワーを建設しました。

約360人収容することができ、2階には倉庫や仮設トイレブースなども設置しています。

緊急時には地域の皆さんで協力して避難してください。



津波避難人工高台

現在建設中の津波避難人工高台では、平時は広場として利用することができ、緊急時には約2,700人を収容することが出来ます。

上部には常設トイレや、かまどベンチ、防災対応シェルターなどを設置する予定です。

早期完成に向けて、現在急ピッチで建設中です。



それぞれの特色を活かしたまちづくりをしている、「竹田市」と「佐伯市」を是非訪れてみてください！